

日 本 気 象 学 会

関 西 支 部 ニ ュ ー ス

2005 年度関西支部第 26 期第 2 回理事会報告	〒 540-0008
2005 年度関西支部第 26 期第 2 回総会・年会報告	大阪府中央区大手前 4 丁目 1-76
第 26 期第 6 回常任理事会報告	大阪合同庁舎第 4 号館
関西支部第 27 回夏季大学報告	大阪管区气象台内
2005 年度関西支部調査研究奨励金の授与候補者の募集	日本気象学会関西支部
結果について	振替 00980-5-18318
2005 年度刊行物の販売について	TEL (06)6949-6323
バックナンバー情報	FAX (06)6944-2121

ホームページ <http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/>
E-mail msj-kns@s2.dion.ne.jp

2005 年度関西支部第 26 期第 2 回理事会報告

2005 年度総会に先立ち、第 26 期第 2 回理事会が 6 月 11 日（土）11 時から大阪府中央区天満橋にある大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）の 4 階中会議室で開催されました。異動等による役員失格・辞退と、役員の補充が報告され、新任役員の紹介のあと小佐野新支部長より挨拶がありました。2005 年度関西支部調査研究奨励金、及び研究グループ助成金の申請については、2004 年度に続きともに無かった旨の報告がありました。総会資料の検討では、2004 年度の事業報告・会計報告と、2005 年度の事業計画・予算案について議論が行われました。関西支部ニュースの発行については、経費節約のため来年度から郵送での通知を取りやめ、ホームページでの掲載を告知するメール配信へと移行させますが、今年度は、移行期間として郵送とメール告知の 2 本立てで行うことが了承されました。総会の成立は委任状を含め過半数を超える必要がありますが、毎年委任状の収集に苦労しております。本部ではこのことに関して昨年より支部会員の議決権の種別化を行うことにより、総会がスムーズに開かれていると聞いており、当支部でも今後の検討課題とすることにしました。また、関西で 5 年ぶりに開催される日本気象学会秋季大会（神戸大学会場）について、第 2 回実行委員会が開かれ、準備が着々と進んでいることが山中理事より報告がありました。

2005 年度の役員の任務分担は次のとおりです。

[常任理事]

- ・支部長 小佐野慎悟（大阪管区气象台）
- ・研究発表担当 山中大学（神戸大学） 石川裕彦（京都大学）
小西啓之（大阪教育大学） 松村 哲（大阪管区气象台）
- ・会計担当 三角幸夫（大阪管区气象台）
- ・研究奨励担当 山中大学（神戸大学） 松村 哲（大阪管区气象台）
- ・夏季大学担当 山中大学（神戸大学） 石川裕彦（京都大学）
小西啓之（大阪教育大学） 高橋清和（大阪管区气象台）

・庶務担当 松村 哲（大阪管区气象台） 高橋清和（大阪管区气象台）

[地区理事]

・近畿地区 中垣 壽（日本気象協会） 内野 修（神戸海洋气象台）

・中国地区 加藤内蔵進（岡山大学） 江口一平（広島地方气象台）

・四国地区 森 征洋（香川大学） 大野久雄（高松地方气象台）

[会計監査]

真中朋久（日本気象協会）

[幹 事]

堀之内武（京都大学） 池田英紀（大阪管区气象台） 神野正樹（大阪管区气象台）

2005 年度関西支部第 26 期第 2 回総会・年会報告

2005 年度関西支部総会は、6 月 11 日（土）13 時から大阪府立女性総合センター大会議室で開催されました。当日の出席者と委任状をあわせて 284 名となり、通常会員総数 549 名の過半数を辛うじて満たし、総会は成立しました。

4 月期の異動により新しく支部長に就任した小佐野支部長の挨拶、同じく補充された理事、幹事等の役員紹介があり、議長に大沢会員（神戸大学）を選出して議事に入りました。2004 年度の事業報告、会計報告、会計監査報告がなされた後、2005 年度の事業計画案と予算案が審議されました。

予算案では研究グループ費について、調査等の奨励をうたっているが、削減は問題がありませんかとの質問がありました。経費削減とのからみもあることから検討することとしました。

小中学校の学習指導要領では気象分野が縮小されましたが、発展的指導内容として気象が扱えるようになりました。しかし、一部では疑問符がつくような内容があり、気象学会で注視して行く必要があるとの意見が出されました。

支部会員数の漸減が問題となっています。气象台等の年齢構成上避けがたいところはありますが、若年層の勧誘が必要であるとの意見と叱咤がありました。このことに関連して、過去、夏季大学の案内は教育委員会から現場の教師への紹介があったように、そういった広報は気象学会の裾の拡大に必要であるとの意見がありました。

山中理事からは、秋季大会での寄付金収集による支部経費補てんの経緯と今秋の神戸開催での寄付金収集の原則停止による支部財政逼迫の説明、会員数増加の方策検討、奨励金の運用についてそれぞれ説明があり、質疑に対する回答としました。

総会の後、同じ会場で年会が開催されました。今年度は発表件数 13 件と昨年の倍以上に増え、空席がまばらになるなど期待の大きさが伺われました。座長は前半を石川理事、後半を山中理事が行い、発表時間がかかなり制限されたなかで巧みな進行がなされました。研究発表は観測・予報・測器などと分野が広く、教育・啓蒙・音楽関連など過去にあまり見られなかった発表もありましたが、それぞれの発表に熱心な質疑が行われました。詳しくは「2005 年度関西支部年会講演予稿集」をご覧ください。

第 26 期第 6 回常任理事会報告

2005 年 7 月 19 日（火）に開催され、以下の議題について討議を行いました。

第 27 回夏季大学

支部会員の種別化

支部ニュース第 250 号の発行予定

支部会員増の対策

メールアドレス集約と支部ニュースの通知

2005 年秋季大会関連

関西支部調査研究奨励金、研究グループ助成金

メールアドレス集約と支部ニュースの通知

これまでに、関西支部の財政が厳しい状況になっていることを支部ニュース等でお知らせしてきました。常任理事会では、関西支部の逼迫した財政状態を立て直すための取組みの一つとして、支部ニュースの印刷や郵送は原則として廃止し、関西支部ホームページに掲載される支部ニュースを閲覧して頂くことになり、ご協力をお願いしています。

具体的には、支部ニュースが発行された旨を支部全会員にお知らせすることになっていますが、そのためには会員のE-mailアドレスの登録が必要となります。現在、E-mailアドレスを集約しておりますが、総会の出欠はがきにより、支部会員の約半数のメールアドレスの集約ができました。今年度末に向けて集約を引き続き行いますが、まだ、登録が済んでいない会員については、会員氏名・番号及びE-mailアドレスを関西支部事務局にご登録いただくよう、よろしくお願いいたします。

なお、これまでに集約したメールアドレスは早々にリストを作成して、支部ニュース第250号から、ホームページに掲載した旨の通知を行っていくことになっています。また、郵送の取り止めについては、2006年度からの支部ニュースとすることを再確認しました。

会員の皆様にはご不便をお掛けしますが、学会財政の実情を勘案いただき、今回の措置についてご理解と協力をお願いします。

支部会員の種別化

支部総会の成立には過半数以上の出席・委任が必要ですが、過半数を収集することが困難となっています。本部では普通会員と特別会員の種別化を行っている状況から、関西支部でも本部の種別化を準用して支部会員の種別化を行うよう、次回総会で提案することとしました。本部の種別化と関西支部での種別化は厳密には等しくありませんので、会員の申し出により変更可能とすることも討議されました。

なお、会員の種別化については、天気Vol.51、No.8(2004年8月号)、P582:「新しい会員制度に基づく会員種別の登録について」、天気Vol.52、No.3(2005年3月号)、P196:「2005年度総会について」に掲載されておりますので、ご参照ください。

2005年度関西支部例会・講演会開催のお知らせ

2005年度関西支部例会・講演会を次の日程で開催する予定です。会員・非会員によらず多数ご参加ください。例会のプログラムは、関西支部のホームページへ掲載するとともに、「天気」の「支部だより」等でお知らせします。

第1回例会(四国地区)

開催期日	2005年12月2日(金)13時00分~17時00分
例会会場	香川大学研究交流棟会議室(香川県高松市幸町1-1)
アクセス	JR高徳線「昭和町駅」下車、徒歩5分 JR高松駅からコトデンバスで市民病院行き「宮脇町」下車、徒歩3分 または大場行き「幸町」下車、徒歩2分
テーマ	設定しない
特別講演	講師:木田秀次氏(京都大学大学院理学研究科教授) 題目:「気候モデリング-グローバルからローカルまで-」
例会発表申込締切日	2005年9月30日(金)
要旨集原稿の締切日	2005年11月4日(金)

第2回例会(中国地区)

開催期日 2005年12月10日(土)10時00分~17時00分
 (発表申込数によっては、開始、終了時刻が多少前後することがあります)

例会会場 広島県立総合体育館小会議室(広島市中区基町4-1)

アクセス JR広島駅南口から路面電車(広島電鉄)の2番宮島口行き・6番江波行きのいずれかに乗車(約10分)し、「紙屋町西」(そごうバスセンター前)下車、徒歩5分

テーマ 設定しない

特別講演 未定

例会発表申込締切日 2005年10月11日(火)

要旨集原稿の締切日 2005年11月10日(木)

第3回例会(近畿地区)

開催期日 2006年2月21日(火)10時00分~17時30分

例会会場 神戸大学海事科学部コンファレンスホール(神戸市東灘区深江南町5-1-1)

アクセス 阪神電車「深江駅」下車、徒歩5分

テーマ 「海洋と気象」(仮題)

特別講演 未定

例会発表申込締切日 2005年12月5日(月)

要旨集原稿の締切日 2006年1月17日(火)

発表の申込要領は以下のとおりです。多数の発表申込をお待ちしています。

申込先(例会・講演会担当:堀之内武幹事)

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学生存圏研究所 堀之内武

E-mail アドレス msj-kns@s2.dion.ne.jp

申込方法 下記の書式で、郵便または電子メール(締切日必着)で申し込んで下さい。FAX、電話での申し込みは受付けていません。なお、ビデオおよびスライドでの発表はできません。

要旨集用の原稿作成の際は「日本気象学会関西支部予稿集・要旨集原稿作成要領」に従って下さい。原稿作成要領は関西支部ホームページ(<http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/regular/genko.html>)でご覧になれます。ホームページをご覧になれない場合は、申込先にご請求ください。なお、所属は正式名称でお願いします。

要旨集用の原稿は発表申込先と同じ宛先に郵便でお送りください。

日本気象学会関西支部 2005 年度例会発表申込

第 回例会(地区)

- ・発表題目:
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に*印・研究グループの場合はグループ名も):
- ・使用機材(OHP、PCプロジェクター):
- ・代表者氏名(連絡先):
- ・連絡先住所:〒
- ・連絡先電話:TEL() FAX()
- ・連絡先 E-mail アドレス:

【旅費の助成について】

支部活動の主要な部分を占める例会・年会について、その活性化を図るため、発表者（支部会員のみ）を対象に、下記の「例会・年会旅費助成要領」に基づいて、旅費の助成を行っています。助成を希望される方は以下の要領でお申してください。

申込先（庶務担当：松村 哲 常任理事）

〒540-0008 大阪府中央区大手前4 - 1 - 76 大阪合同庁舎4号館

大阪管区気象台技術部気候・調査課内 日本気象学会関西支部 松村 哲

E-mail : msj - kns @ s 2 . d i o n . n e . j p

TEL : 06-6949-6321

FAX : 06-6944-2121

締切日 それぞれの年会・例会発表申込締切日

申込方法 次の書式で、郵便、FAXまたは電子メールで申し込んで下さい。

日本気象学会関西支部 2005 年度年会・例会旅費助成申込

年会または例会（例会の場合は地区名を含む）:

- ・発表題目：
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に*印・研究グループの場合はグループ名も)：
- ・旅費(片道)の見積もり：
- ・代表者氏名(連絡先)：
- ・連絡先住所：〒
- ・連絡先電話：TEL() FAX()
- ・連絡先 E-mail アドレス：

例会・年会旅費助成要領

(目的)

- 1 日本気象学会関西支部が開催する例会・年会で発表する会員への旅費の助成を目的とする。

(資格等)

- 2 日本気象学会関西支部会員を対象とする。
- 3 支給は例会・年会ともに1題の発表につき1名とする。また、助成総額の上限は、例会・年会ともにそれぞれ3万円とする。
- 4 個々の支給は、原則として片道旅費が5千円を超えるものを対象とし、上限を1万円として片道旅費を助成する(千円未満は四捨五入)。ただし、応募者が多い場合は減額されることがある。
- 5 助成を受けた者は当該年度に限り応募できないものとする。

(手続き)

- 6 助成希望者は、発表の申し込み時に、旅費の見積もりとともに事務局に申請するものとする。書式は支部ニュースで知らせる。
- 7 常任理事会は助成者を決定するが、応募者が多い場合などには地区理事に調整を依頼する場合がある。

(義務等)

- 8 助成を受けた者は、当該例会・年会で発表するものとする。

(雑則)

- 9 その他必要なことは常任理事会で協議し決定する。

(付則)

この要領は平成13年6月23日から施行する。

関西支部第27回夏季大学報告

関西支部第27回夏季大学を、2005年8月4日(木)午後と5日(金)午前・午後の2日間、大阪市天満橋のドーンセンターにおいて、大阪管区气象台及び日本気象協会の後援で開催しました。

今回は昨年の相次ぐ台風災害を踏まえて、テーマを「台風」としました。1日目は、第1講座として宮北吉美氏(大阪管区气象台気候・調査課)による「台風に関わる海の状況、ITCZ、昨年のコース等について」、第2講座として林泰一氏(京都大学防災研究所)による「台風の構造」、2日目は、第3講座として間瀬肇氏(京都大学防災研究所)による「高潮・高波の数値解析と技術」、第4講座として高橋清和氏(大阪管区气象台予報課)による「台風接近時の予報作成」の4講座を実施しました。受講者は昨年より若干少なくなったものの63名(1日目60名、2日目54名)で、中会議室は満席となり、学生から70歳代までの幅広い年齢層の方々が参加され、盛況に行われました。

それぞれの講座では、受講生の熱心な聴講となり、講義のあとの休憩時間にも質問する風景が見られました。また、台風の目に飛行機で突っ込む興味深い講師の体験談が飛び出したり、受講生間での白熱した議論もありました。予報作成実習では、昨年の台風第21号の事例を取り上げました。高層実況図の解析から数値予報資料の見方に至るまで2時間以上をかけて熱心に取り組んでいました。年配の方々は手馴れた作業のようでしたが、学生など若い人ほど初めての作業に戸惑いがあったようです。そこは、関西予報士会からのベテランスタッフが受講者の間をまわりながら、丁寧に応じていました。この実習からは、天気図の解析と見方・予報作成に至るまでの作業の流れ等は概ね理解していただけたと思っております。

2005年度関西支部調査研究奨励金の授与候補者の募集結果について

支部ニュース第248号で2005年度関西支部調査研究奨励金候補者を募集していましたが、募集期限の4月22日(金)までに応募や推薦はありませんでした。同奨励金は会員の推薦や応募に基づいて常任理事会で選考し、6万円の奨励金が授与されるもので、関西支部に所属する会員で、調査・研究を精力的に行っている人や学校教育を通じて気象学の知識普及に努力されている人などで、研究環境にあまり恵まれていない人を助成するために設けられています。

2005年度内は引き続き応募や推薦を受け付けますので、積極的な応募や推薦をお願いします。

応募や推薦はA4判用紙に以下の事項を記入のうえ事務局まで送付してください。

1. 受領候補者の氏名、印、生年月日、勤務先及び連絡先(住所と電話番号)
2. 研究題目、内容
3. 受領候補者の略歴
4. 推薦者の氏名、印、勤務先及び連絡先

なお、受領者は規定により、研究内容について年会、例会、又は日本気象学会大会で発表していただきます。

2005年度刊行物の販売について

関西支部の今年度の刊行物は次のとおりです。

- | | | | |
|---------------------------------|----------------|----|------|
| ・第27回夏季大学テキスト「台風」 | | 既刊 | 600円 |
| ・2005年度 関西支部年会講演予稿集 | | 既刊 | 600円 |
| ・2005年度 関西支部例会講演要旨集 第106号(高松開催) | 2005年11月下旬刊行予定 | | 600円 |
| ・2005年度 関西支部例会講演要旨集 第107号(広島開催) | 2005年12月上旬刊行予定 | | 600円 |
| ・2005年度 関西支部例会講演要旨集 第108号(神戸開催) | 2006年2月中旬刊行予定 | | 600円 |

これらの刊行物の購入を希望される方は、事務局まで下記の書式で郵便、FAXまたは電子メールでお申してください。印刷部数には限りがありますので、部数切れになる場合があることを予めご了承ください。なお、郵送を希望される方は、送付時に同封する郵便振替用紙にて送料を含む代金をお支払いください。

日本気象学会関西支部予稿集・要旨集等申込書

- ・氏名または団体名： _____ 代表者(_____)
 - ・送付先住所：〒 _____
 - ・連絡先電話：TEL(_____) FAX(_____)
 - ・連絡先E-mail アドレス： _____
 - ・刊行物名と申込部数：
 - ・年会講演予稿集 _____ 部
 - ・例会講演要旨集 第 _____ 号 _____ 部
 - ・第27回夏季大学テキスト _____ 部
 - ・受取方法 (郵送 / 事務局手渡し)
-

バックナンバー情報

既刊行物のバックナンバーは以下のとおりです。

<夏季大学テキスト> (括弧内は残部)

- 18回 1996年 気象・気候の科学 - 見る，聞く，世界の気象 (41)
- 19回 1997年 天気変化の仕組みと新しい天気予報 (0)
- 20回 1998年 日本に影響を及ぼす熱帯の気象 - 台風・エルニーニョ現象・モンスーン (6)
- 21回 1999年 大雨と災害 (0)
- 22回 2000年 リモートセンシングと気象 (0)
- 23回 2001年 気候変動 (170)
- 24回 2002年 生活と気象 (163)
- 25回 2003年 ~雨~ (100)
- 26回 2004年 身近な気象学 (155)

<年会講演予稿集> (残数のある年度のみ：括弧内は残部)

1992年 (1)	1996年 (32)	1999年 (4)	2000年 (30)	2001年 (21)
2002年 (32)	2003年 (32)	2004年 (42)	2005年 (27)	

<例会講演要旨集> (括弧内は残部)

- 73回四国 (局地気象と中小規模現象) (6)
- 75回近畿 (大気組成・物質輸送・総観気象) (62)
- 77回中国 (中小規模現象) (54)
- 79回近畿 (中小規模現象) (21)
- 81回中国 (中小規模現象と局地気象) (30)
- 83回中国例会 (15)
- 85回四国 (局地気象・中小規模現象) (19)
- 74回近畿 (海洋気象学会と共催) (海洋と気象) (2)
- 76回四国 (局地気象・中小規模現象) (56)
- 78回近畿 (海洋気象学会と共催、海洋と気象) (61)
- 80回四国 (局地気象) (32)
- 82回近畿 (海洋気象学会と共催、海洋と気象) (32)
- 84回近畿 (地球規模の気候変動と局地気候) (9)
- 86回近畿 (海洋気象学会と共催、海洋と気象) (19)

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 87 回近畿（西日本における最近の台風・豪雨）(5) | 88 回中国例会（15） |
| 89 回四国（局地気象・中小規模現象）(19) | 90 回近畿（海洋気象学会と共催、海洋と気象）(0) |
| 91 回四国例会（27） | 92 回中国例会（4） |
| 93 回近畿（海洋気象学会と共催）(4) | 94 回中国例会（40） |
| 95 回四国例会（56） | 96 回近畿（海洋気象学会と共催、海洋と気象）(16) |
| 97 回中国例会（22） | 98 回四国例会（44） |
| 99 回近畿（海洋気象学会と共催、海洋と気象）(25) | 100 回中国例会（36） |
| 101 回四国例会（局地気象・中小規模現象）(36) | 102 回近畿（海洋気象学会と共催、海洋と気象）(22) |
| 103 回中国例会（9） | 104 回四国例会（激しいメソスケール現象）(39) |
| 105 回近畿（人・自然・地球共生の試み）(52) | |

バックナンバー御希望の方は事務局まで、下記様式により、郵便または手渡し、FAXあるいは電子メールでお申し込みください。バックナンバーの郵送を希望された場合、代金（400円、送料別）はバックナンバー送付時に同封する郵便振替用紙にてお支払い下さい。

（バックナンバー用）

日本気象学会関西支部予稿集・要旨集等申込書

- ・氏名または団体名： _____ 代表者(_____)
- ・送付先住所：〒 _____
- ・連絡先電話：TEL(_____) FAX(_____)
- ・連絡先E-mail アドレス： _____
- ・刊行物名と申込部数：

・ _____	年度年会講演予稿集	部
・ _____	例会講演要旨集 第 _____ 号	部
・ _____	第 _____ 回夏季大学テキスト	部
- ・受取方法 (郵送 / 事務局手渡し)